

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会：土屋課長	<p>皆様こんばんは。本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は本日の会議の司会を務めさせていただきます。福祉部高齢者福祉課長の土屋でございます。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>ただいまから令和5年度第3回久喜市在宅医療・介護連携推進会議を開催させていただきます。本日は委員19人中、18人のご出席でございます。会議の開催にあたりまして、関谷座長よろしくお願いたします。</p>
関谷座長 議長（関谷座長）	<p>はい。座長をさせていただきます。新井病院の関谷でございます。</p> <p>ご指名でございますので、議事進行を務めさせていただきます。円滑に協議が進行いたしますよう、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは最初に、本日の会議の議事録署名人を確認させていただきます。資料の1-1で配布した委員名簿の順で、11番目の中島尚哉委員と、12番目の車塚克己委員をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
中島委員 車塚委員	<p>承知しました。 承知しました。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。ではよろしくお願いたします。</p> <p>それでは本日の協議事項に移りたいと思います。まず、協議事項(1)「令和5年度第2回在宅医療・介護連携研修会の報告について」でございます。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局：加納補佐	<p>はい。令和5年度第2回久喜市在宅医療・介護関係者研修会の報告についてご説明いたします。資料2-1をご覧ください。</p> <p>令和6年1月17日水曜日、午後7時から9時まで鷺宮総合支所4階会議室で行われました。第一部は、公益社団法人 埼玉県社会福祉士会 社会福祉士の鈴木洋先生による「後見人と身元保証人の違い、意思決定支援の基本的な考え方」という題で、現場の事例を交えてご講演いただきました。第二部は新井病院院長の関谷栄先生に総合司会をお願いし、第1部の内容からテーマを「身寄りのない高齢者の対応」といたしました。①「身寄りはあるが、いっさいやらない（何もしてくれない）」というケースと②「身寄りがない（孤独）」というケースに分けました。次に、症例のパターンを次の3つ「①がんの末期で進行していくケース、②心不全で入院を繰り返す、症状が悪化していくケース、③認知症が進行していくケース」で「入院時・退院時の対応を考える」と「在宅の対応を考える」を財産の有無に分けて、グループワークを行いました。</p>

事務局：加納補佐

出席者は全部で78名となりました。グループワークでは、このようなケースにかかわったことのない職種もありましたが、現在進行形にかかわりを持つ職種は活発に、それぞれの視点で意見を出し合い、情報の共有などが行われました。「誰が結びつけるのか、どういうタイミングで行うのか、わからないことだらけなので教えてほしい」などの意見を話し合いました。

資料2-2の2ページから5ページと、資料2-3をご覧ください。

グループワークで発表されたものをまとめたものでございます。多職種で話し合いを踏まえて、多くのご意見をいただきました。テーマが難しかったのですが、「ご本人の意見を尊重し、行政と相談しながら進めていく」、「生活保護の相談や申請に至り、対象となればよいが、対象とならない場合は、できるだけ病気が悪化しないうちに、今後のこととして、後見人や身元保証人をつけるなど、本人の意思がしっかりしているうちに話し合い、決まった内容や動きをケアマネや医療職、知り合いや民生委員など、かかわりのある人に伝えておくとうい」という意見がありました。また、親族とのトラブルを避けるために、後見人は、意思決定支援は複数人で複数回の協議を行うことで「ここまでやった」という手紙を送り、「いついつまでに返事が欲しい。返事がない場合は、次に進む」など、「書面に残しておくことが大切である」とわかりました。

続きまして、資料2-4をご覧ください。

研修参加者78人のうち、68人から回答いただいたアンケートの結果でございます。

今回の研修では、テーマについて「よい」と答えてくださった方63人で92.6%でした。

また、3ページと4ページには、講演やグループワークで得られたこと、感じたことについて、職種ごとの意見をまとめております。今回の研修を通して、「身寄りのない方へどのように対応したらよいのか、学ぶ良い機会であった」「地域包括支援センターやケアマネジャーからの情報が一番でその役割は大切。また、病院の退院支援の方からの情報も大切。」「本人の意思を尊重するため、いろいろなケースや知識が必要だと感じた」などという意見が聞かれました。

今後、医療と介護の多職種による利用者支援の実際の場面で、円滑な連携に生かしていただける内容であったと思われれます。

続きまして、5ページをご覧ください。

「今後研修会で取り上げてほしいテーマ」についてのご意見を記載しております。

「本日のテーマで再度話し合う」や「周術期（手術が決定した外来から入院、麻酔・手術、術後回復、退院、社会復帰までの、患者の術中だけでなく手術前後を含めた一連の期間のこと）について」

「医療面での介入のケースについて」「認知症で自分のことがわからない、病気を認めないときなど、いろいろなケースの対応を明確に知りたい（パターン別）」「8050問題について」「災害」などのご意見がありました

今後の研修のテーマを検討するうえで、皆様からのご意見を参考にさせていただきます。

今回のグループワークでは、「職種によっても考えていることや困っていることが違い、対応の仕方では、行政、家族、生活保護、

事務局：加納補佐	<p>ケアマネジャー、後見人それぞれの段階的な相談のタイミングがあることがわかった」「どのようなケースにおいても、最終的には行政へたよるという考えに結びついた」など、「利用者支援の際に関係者が本人の思いを代弁し、本人の思い（意思）で支援していく必要がある」という感想もいただくことができました。</p> <p>研修会におけるグループワークを継続することで、他の職種の方との顔の見える関係づくりだけではなく、実際の円滑な連携の促進にもつながるものと考えております。</p> <p>今後におきましても、更に、多職種の共通理解と連携の促進のため、引き続き在宅医療・介護関係者研修会を実施してまいります。報告は以上です。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ただいまの研修会の報告がありました。</p> <p>後見人や身元保証人という言葉の意味や違いがわかった研修会だったと思います。今後ますます必要になってくるのではないのでしょうか。特に、認知症の方や身寄りのない方に関しては、退院にむけて、ケアマネジャーや行政を含めた複数の関与が必要になってきますね。令和6年度は介護保険も医療保険も報酬改定がありますので、退院前カンファレンスなど必要になってくる部分だと思えます。</p> <p>何かご質問はございますでしょうか。特にないようですね。</p> <p>では、協議事項（1）の「令和5年度第2回久喜市在宅医療・介護関係者研修会の報告について」はよろしいでしょうか。</p> <p>研修会の報告とグループワークの発表については、公表できるようにしていただきたいと思えます。</p> <p>では次に、協議事項（2）「令和5年度の活動状況と令和6年度の予定について」です。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局：加納補佐	<p>（2）「令和5年度の活動状況と令和6年度の予定について」ご説明いたします。</p> <p>資料3をご覧ください。右側に（ア）から（ク）の項目ごとに令和5年度実施した途中経過と令和6年度の予定について記載しております。</p> <p>アの「地域医療・介護資源の把握」につきましては、令和3年度より導入いたしました社会資源把握システム（けあプロnavi）の情報更新のため、関係機関に基本情報確認シートを送付し、回答いただきました最新情報を、随時けあプロnaviに反映させ、市民の方に公表しております。【病院・診療所】につきましては、調査72件中回答が49件でした。回収率は68%になっております。【歯科診療所】につきましては、調査93件中回答が62件でした。回収率は67%でした。【薬局】につきましては、調査60件中、回答が47件でした。回収率は78%でした。回収率からもわかるとおり、調査について関係機関の協力を得ることが課題となっております。</p> <p>イの「在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討について」ですが、令和5年5月16日に第1回目の会議を、11月7日に第2回目の会議を開催し、事業の取組と課題について協議を行いました。</p>

事務局：加納補佐

また、在宅医療・介護関係者の研修会についても協議を行い、皆様のご協力を得たところです。令和6年度も推進会議を年3回、5月、11月、3月に予定しており、研修会は年2回、7月と1月を予定しております。皆様の活発なご意見とご協力をお願いいたします。

次ページをご覧ください。ウの「切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築推進について」でございますが、南埼玉郡市医師会に一部業務を委託しております。入退院支援ルールを作成し、市内の医療機関をはじめ、居宅介護支援事業所や介護福祉施設等にパンフレットを郵送させていただきました。また、今年度の研修会では、「入退院支援ルール」について、各専門職の方々に紹介し、作成した南埼玉郡市医師会サポートセンターから講義をしていただきました。現在、入退院支援ルールの周知・運用状況のアンケートを実施しております。周知が足りない状況であると報告を受けており、3月末には、最終的に結果がでると思いますので、また、報告させていただきます。

また、在宅医療介護関係者向けの動画コンテンツをさらに9つ追加作成し、在宅医療サポートセンターのホームページで公開しているとの報告を受けております。別紙として、厚生労働省資料「在宅医療と介護連携イメージ」と書かれた資料をご覧ください。ここにありまして、「在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる場面として4つの場면을意識して事業に取り組む必要がある」と言われております。

(1) 日常の療養支援：多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの在宅医療・介護の提供、緩和ケアの提供、家族への支援、認知症ケアパスを活用した支援

(2) 入退院支援：入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との協働・情報共有による入退院支援、一体的でスムーズな医療・介護サービスの提供

(3) 急変時の対応：在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の急変時における救急との情報共有

(4) 看取り：住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所で看取りの実施、人生の最終段階における意思決定支援についてです。

次のページをご覧ください。オの「在宅医療・介護連携に関する相談支援について」でございますが、令和6年2月末現在の在宅医療サポートセンターで行われている相談件数は、医師会在宅医療サポートセンターが久喜担当で71件、奏（かなで）診療所が蓮田、白岡、宮代担当で44件となっております。病院関係者や地域包括支援センター、介護支援事業所などからの相談が主となっております。カの「在宅医療・介護連携関係者の研修について」でございますが、令和5年度の研修会は先ほども報告させていただいたとおり、7月26日と1月17日に開催しました。令和6年度も2回開催する予定です。皆様のご意見を含めまして、第1回目、2回目のテーマを5つほど、案を記載させていただきました。

1. 誤嚥性肺炎にならないためにといたしまして、歯科医師に講演をお願いする、
2. 急変時の対応として、救急車の呼び方などを消防署の方などに講演をお願いする、
3. 居宅療養管理指導について、訪問薬剤師に講演をお願いする、

事務局：加納補佐	<p>4. 生活機能の回復・維持を図る観点からリハビリについて、理学療法士などに講演を依頼する、</p> <p>5. 訪問栄養食事指導の機能と役割として、管理栄養士などに講演を依頼する、という5つです。</p> <p>研修テーマにつきまして、皆様のご意見を伺った後に、詳細については、新年度になりましたら協議していただく予定です。この研修会は、地域の医療と介護の関係者が共通理解と情報共有に努め、多職種連携を推進するために実施するものでございます。研修会の参加により、知識の習得とともに、顔の見える関係づくりを行うことで、今後の在宅医療と介護関係者の連携を、円滑に図ることができるものと考えております。</p> <p>次のページをご覧ください。キの「地域住民への普及啓発」につきましては、市のホームページにおいて掲載させていただいております。令和6年度も同様に周知に努めたいと考えております。クの「二次医療圏内・関係市区町村の連携」につきましては、久喜市・蓮田市、白岡市、宮代町の3市1町で集まり、事業について連携して進めているところでございます。令和6年度も引き続き連携を図ってまいります。</p> <p>説明は以上です。</p>
議長（関谷座長）	<p>はい。ありがとうございました。今の事務局からの説明に対して何かご質問がございますか。</p> <p>研修会については、認知症についてもテーマに入れておいてほしいと思います。</p> <p>それでは協議事項（3）「その他」です。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局：加納補佐	<p>協議事項（3）その他でございます。</p> <p>次回、「令和6年度 第1回久喜市在宅医療・介護連携推進会議の開催について」でございます。</p> <p>1回目の会議は、先ほど協議していただいた資料3にあるとおり5月中に開催したいと考えております。日程が決まりましたら、委員の皆さまには改めてご案内いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
議長（関谷座長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>何かこのことに関して、質問がございますでしょうか。</p> <p>回りの会議の日程は、5月中ということですので、決まり次第、事務局から委員へ通知をお願いします。</p> <p>以上を持ちまして、本日の協議事項につきましては、終了します。</p> <p>それでは、委員の皆さまからひと言ご意見をいただきたいと思っております。議長からご指名させていただきます。</p> <p>まず、医師の立場から、新井委員いかがですか。</p>
新井委員	<p>研修会では色々な職種の方の話を聞いて、動きがわかりました。講義をもう少し深くして、もう1回やってほしいと思います。また、ケアプロnaviの情報シートは、封筒で送られるのですか？</p>

事務局：加納補佐	FAXで送ります。
新井委員	業者名が大きいので、市役所からの手紙と思わず判別が難しいので、事前に連絡を入れてほしいと思います。2回送ってほしいし、自治体から案内したほうが回収率が上がるのではないかと思います。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。熊懷委員いかがですか。
熊懷委員	研修会はこれから必要になるテーマでした。多職種の連携、親族・行政との連携、周知も必要だと思いました。同じような研修をもう1回やるのもよいと思います。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。 歯科医師の立場から渋谷委員いかがですか。
渋谷委員	歯科医師は、すべてが用意された状態でかかわることが多いため、とても勉強になりました。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。 薬剤師の立場から池上委員いかがですか。
池上委員	薬局では、元気な人しか来ないため、とても勉強になりました。また、その元気な人が認知症にならないように対応しています。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。 訪問看護師の立場から次藤委員いかがですか。
次藤委員	意思決定支援の場面では、包括に助けてもらっています。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。 介護支援専門員の立場から中島委員いかがですか。
中島委員	ケアマネの立場から医療との連携を求められていると感じます。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。 訪問介護員の立場から車塚委員いかがですか。
車塚委員	認知症はリハビリをすることで改善傾向になることはわかっています。本人が乗り気でない人に対する支援が難しいので、コツがあれば共有していきたいと思います。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。在宅医療サポートセンター看護師の立場から越川委員いかがですか。
越川委員	大変勉強になりました。令和7年以降に同じようなテーマでできるとよいと思います。研修会の参加者にも結果とまとめを共有できたらよいと思います。

議長（関谷座長）	ありがとうございました。 保健所の立場から内田委員いかがですか。
内田委員	埼玉県第8次保健医療計画を作成中です。やっと「高齢者が増えて大変」というだけでなく、対応について具体的な検討が始まりました。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。 地域包括支援センターの立場から山崎委員いかがですか。
山崎委員	単身高齢者が増え、成年後見センターにもこのような相談が増えていると感じます。今は、困ったときに相談に来ている印象です。早い時期から制度の利用を考えられるよう周知などに取り組む必要があると感じます。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。同じく地域包括支援センターの立場から松浦委員いかがですか。
松浦委員	日々、大変な相談が入ってきます。高齢者は多くば問題を抱えており、一人では対応は難しいため、多職種の連携が必要だと感じます。
議長（関谷座長）	ありがとうございました。 ほかにご意見がありましたら、挙手をお願いいたします。 いただいたご意見について、事務局でまとめていただき、次回の会議につないでいただきたいと思います。 何か、ご意見とか、ご質問とかございますでしょうか。ないようでございますので、これをもちまして、議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局：土屋課長	関谷座長、それから委員の皆様、ありがとうございました。 それでは以上をもちまして、令和5年度第3回久喜市在宅医療・介護連携推進会議を閉会とさせていただきます。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。(注)

令和6年5月31日

議事録署名人 議長 関谷 栄

議事録署名人 委員 中島 尚哉

議事録署名人 委員 車塚 克己

(注) 特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。